

津島詣でマップ

津島下 街道編

津島下街道を歩いてみよう!

地下鉄東山線岩塚駅(スタート)総距離15.1km(4時間10分)

- 2.6km: 40分-万場宿跡
- 4.3km: 72分-七宝焼原産地道標
- 3.0km: 50分-神守宿跡
- 3.0km: 50分-埋田追分跡
- 2.2km: 37分-津島神社(ゴール)

(注) マップの赤線以上の距離、所要時間、所要時間は徒歩3.6km/hで算定。



津島下街道は、名古屋と津島を結ぶ街道で、かつての熱田から桑名までの東海道(七里の渡し)に代わる陸路中心の脇街道「佐屋路」の一部になります。下街道と佐屋路は、伊勢湾で繋がる熱田神宮、津島神社そして伊勢神宮を結ぶ道とも言えます。岩塚宿、万場宿、神守宿を通り津島神社に至る街道沿いには、宿場町の面影や由緒ある神社仏閣、旧街道の史跡があります。街道を歩いて津島に「詣で」ましょう!

23 津島神社

1460年以上の歴史を誇る津島神社は、「西の八坂神社、東の津島神社」といわれ、全国に3,000余あるといわれる「天王子」の総本社。疫病退除、授福の神である建速須佐之男命(たけはやすきののみこと)を祀ります。楼門は豊臣秀吉、南門は豊臣秀頼、桃山式の建築美を誇る本殿は松平忠吉の妻からの奇造です。「津島の天王さま」と呼ばれ、多くの人に親しまれています。

尾張津島秋まつり

(10月第1日曜日とその前日の土曜日)

約300年前から始まったと言われ、豪華絢爛な山車(だし)が賑やかに繰り出す競演は見る人の心を誘う。せ、車(しやざり)やかくりの奉納は見どころです。また、鉦や太鼓を打ち鳴らす石探祭車(いしどりさいしゃ)、神楽や子供獅子などの祭事も行われます。

開扉祭

(おみと、旧暦2月1日)

旧暦2月1日に津島神社で執り行われる700年以上も続く重要な祭礼です。殿で作られた大松明を灯し、神社の扉門をくぐり抜けます。その燃え残りは昔から「面影」「面影止」「田の虫籠」にご利益があるといわれます。

尾張津島天王祭

(7月第4土曜日とその翌日の日曜日)

津島が誇る代表的な祭りが「尾張津島天王祭」です。600年近くの歴史を持ち、まさに時代絵巻と言いうにふさわしい狂歌・華楽な川祭です。平成28年には尾張津島天王祭の車楽舟行事がユネスコ無形文化遺産に登録されました。

22 堀田家住宅

江戸中期に建てられた津島を代表する町家建築で指定重要文化財です。火を通にくい漆喰と土壁、また火事延焼を防ぐ「うだつ」や、泥物の侵入を防ぐ「忍び返し」があります。入館料: 一般 300円、小・中学生 100円
開館日: 土・日曜日、祝日
※平日(月曜日は休館)については3日前までに5人以上で予約が必要。開館時間: 10時~16時まで

21 天王川公園

かつて旧天王川の津島湊として栄えていました。今は尾張津島天王祭、藤まつりの会場になります。春の桜、初夏の藤(写真)、スイレン、秋の紅葉、冬の雪景色と四季折々の自然があり、「日本の歴史公園100選」として多くの人に親しまれています。

19 道標

津島上街道と下街道の交わる場所。「津島神社参宮道」と大きな石道標に書かれています。

20 津島市観光交流センター

地方都市に波及した昭和初期の典型的な銀行建築の意匠、装飾が残り。敷地の奥には土蔵があります。開館時間: 9時~17時
休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日以降の日でない日)、年末年始

18 本町筋

旧天王川の名残でゆるやかなカーブを描く本町筋には、古い町家、商家などが今もなお残っています。

16 大土社

大土社の祭礼である今市市楽は「尾張津島秋まつり」の一つとして山車を曳きまわします。社殿裏にはおもちかさんと呼ばれる石があります。さすれば子宝に恵まれるとの伝承があります。

17 妙延寺

山号は津島山。日蓮宗のお寺です。戦国武将加藤清正が幼少の頃に手置所に通ったのがこの寺で、境内には「清正公草紙掛松」と呼ばれる松がありました。この松の幹の一部は、寺宝として大切に保管され、現在に伝えられています。

14 津島一里塚跡

かつての一里塚には楕円形の小山に大きな松があり、楕円に稲荷の祠もありましたが、現在はその跡は残っておらず、塚の一部が清光院の境内になっています。寺宝として旧街道沿いの通りからご覧ください。

16 大土社

17 妙延寺

18 本町筋

19 道標

20 津島市観光交流センター

21 天王川公園

22 堀田家住宅

23 津島神社

現在では佐屋路の一部は廃道

至佐屋(三里の渡し跡・佐屋宿跡)

埋田追分跡13

津島市役所

埋田町交差点の次の道路を左折してすぐに右折

1~23 おすすめスポット

名鉄バス路線

津島神社ゆかりの神社

コンビニ・スーパー

喫茶店・飲食店 等店舗

トイレ

右が北

【津島下街道スタート・ゴール最寄り駅へのアクセス】

【スタート】名古屋市地下鉄東山線「岩塚駅」へのアクセス
地下鉄名古線から約9分
名鉄バス「地下鉄岩塚駅」(バス停へのアクセス) 名鉄バスセンターから約13分

【ゴール(津島神社)最寄り駅】名鉄津島駅へのアクセス
名鉄津島線 名鉄名古線から約22分
名鉄バス 名鉄バスセンターから約50分
名鉄尾西線 名鉄岩塚駅から約10分

【コースを歩く前の注意事項】

- ★適切な体調管理と適度なペースで散策するよう、各自の責任で安全にお楽しみください。
- ★交通量の多い箇所や道路の幅が狭い箇所があります。車や自転車などにお気をつけて散策をお楽しみください。
- ★散策中のけがや事故などに対して、発行者は一切の責任を負いかねます。
- ★開館・営業日時に設けられているスポットについては事前にご確認の上で散策し、神社仏閣などの建物内に入る場合は、各自で了承を得てください。
- ★名鉄バスの(バス停)や行き先などは各自でお調べください。

津島詣でマップ【津島下街道編】
制作: 津島市
発行: 一般社団法人にぎわい創出機構 OSHI
〒495-0807 愛知県津島市天王通り1丁目21番地
電話 0567-28-5700

※この地図は、国土地理院の承認を得て、株式会社電子地形図25000を複製したものである。(承認番号 平29情保 第1674号)
※このマップを複製する場合は、国土地理院の長の承認を得なければなりません。

12 憶感神社・吉祥寺

祭神は「憶感(おっかん)の神」で、水をつかさどる神様です。その他に心願成就、縁結び、家内安全、商売繁盛のご利益があります。吉祥寺は、憶感神社の神宮寺で境内には六角地蔵堂があり旅人は道中の安全を祈ったと伝えられています。

11 神守の山車蔵

文化年間(1804~1818)頃、憶感神社、穂積社の祭礼として始まった神守祭は、現在、10月第1日曜日とその前日の土曜日に「尾張津島秋まつり(写真)」の一つの祭として開催され、美しい花飾りやからくり飾つた5台の山車(だし)が曳き回されます。上町、中町、南町の3つの山車蔵があります。

10 神守宿跡

万場宿と佐屋宿との間があまりにも長かったため、正保4年(1647)に設けられた宿場。かつては憶感神社を中心に宿屋・商家が立ち並び、今でも宿場町の面影が感じられます。また、明治天皇が東京に行幸したときにも休憩された場所です。

9 養源寺

山号を神守山というように、神守宿を代表する真宗大谷派のお寺です。漆喰塗の六角堂が格式を偲ばせ、また、明治時代の名僧神守空観師は当寺の出身でした。

8 神守一里塚

17世紀ごろに設けられたと推定されるムクノ老樹が残る一里塚。一里塚は街道の両側に一里(約4km)ごとに設けられた塚で、旅人の目印でした。

7 七宝焼原産地道標

尾張七宝は、江戸時代末に創始され、七宝町の町名の由来ともなっています。この道標は明治28年に建てられたもので、碑の上側に「Shippoyaki Toshima」とあり、七宝焼を買い付けに来る外国人を歓迎して建てられたと考えられます。

6 明眼院とその道標

わが国最初の眼病治療所として知られる寺院です。後水尾上皇の皇女を祭り、高麗の円山宗雪や国学者の本居宣長(本居宣長の子)などを治療したと伝わり、江戸時代には全国各地から多くの患者が押し寄せました。境内にあった病院は、「応永院」と呼ばれ、東京国立博物館の庭園に移設されています。なお、明眼院への道標はかつて街道沿いがありました。

5 自性院・高札場跡

街道沿いに高札場(兩府等の法度などを掲示した場所)跡があります。その東に自性院があります。自性院は、702年、創建と伝わり付近にあった3箇所の法統と寺宝を受け継いでいます。

4 国玉神社・光園寺

延喜式神名帳にも記録されている由緒ある国玉神社。権田信長が新藤三郎の娘と嫁いで見つけた旧洲洲(清須市) 聖徳寺の山門を移築した光園寺(写真)など、この辺りは歴史ある雰囲気があります。

3 万場の渡し跡と万場宿跡

万場宿と岩塚宿を結んだ渡し場跡。尾張名所図会には馬2頭、客9人、籠、船2人が乗ることができるとある川船が描かれ、東西交流の多さを物語っています。また、この箇所が万場宿だったところ、かつての宿場の風情が残ります。

2 七所社

尾張三大奇祭の一つで、名古屋市民俗文化財でもある「きねこ祭」が旧暦1月17日に行われます。庄内川に立てた笹竹を登り、折れた方で西宮を占めます。境内に日本武尊(ヤマトタケル/ミコト) 腰掛岩と古墳(塚)があり、「岩塚」の地名の由来となったと言われています。

1 岩塚宿跡

佐屋路の四つ宿(岩塚、万場、神守、佐屋)のうちの一つで、月の上旬は庄内川の対岸にある万場宿、下旬は岩塚宿が1つの宿として機能していました。現在では、宿場跡は住宅地に姿を変えています。

1~23 おすすめスポット

名鉄バス路線

津島神社ゆかりの神社

コンビニ・スーパー

喫茶店・飲食店 等店舗

トイレ

右が北